

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 福岡県北九州市小倉北区室町1-1-1

団体名 ウォータースタンド株式会社

代表者 代表取締役社長 本多均

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	うおーたーすたんどかぶしがいしゃ
団体名	ウォータースタンド株式会社
(ふりがな)	ほんだひとし
代表者氏名	本多均
所在地	市内事業所 北九州市小倉北区 室町1-1-1 リバーウォーク北九州1階
	主たる事業所 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-463
事業概要	水道直結ウォーターサーバー「ウォータースタンド」のレンタル事業
企業・NPO法人等の別	企業
業種（企業のみ）	生活関連サービス業、娯楽業
従業員数（企業のみ）	301人以上
ホームページの有無	有
ホームページURL	https://waterstand.co.jp/

連絡先

担当部署	北九州営業所
担当者	荒木 博
電話番号	093-383-8466
メールアドレス	pr@waterstand.co.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	
				7.2	9.4	13.3		ゴール	指標
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					<ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体との協定締結の下で無料で給水できるウォータースタンドを各所に設置し、マイボトルの携帯を呼び掛ける。気候変動への緩和策として使い捨てプラスチックの削減を目的とする。 業務プロセスのなかで、再生機の使用など資源の循環につながる提案や商品開発を行う。 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール13	経済(2)④
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					<ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体との協定締結の下で無料で給水できるウォータースタンドを各所に設置し、マイボトルの携帯を呼び掛ける。気候変動への緩和策として使い捨てプラスチックの削減を目的とする。 ウォータースタンドをレンタルするビジネスモデルによって、ライフサイクルを通じて当社が製品を管理し、部品のリユースや廃棄物の削減に取り組む。 業務プロセスのなかで、再生機の使用など資源の循環につながる提案や商品開発を行う。 	ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	環境(1)②
3	事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 (サプライチェーン管理)					<ul style="list-style-type: none"> 営業車両として自転車や乗客に活用するほか、当社が発行するツールなども持続可能な管理をされた紙を使用するなど業務のあらゆる側面でも限りある資源を有効活用する。 地方公共団体との協定締結の下で無料で給水できるウォータースタンドを各所に設置し、マイボトルの携帯を呼び掛ける。気候変動への緩和策として使い捨てプラスチックの削減を目的とする。 	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール12	経済(4)①
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					<ul style="list-style-type: none"> 業務プロセスが高い付加価値を創出するよう常時改善を行う。これにより、多様な人材が活躍できる職場を実現する。 ウォータースタンドをレンタルするビジネスモデルによって、ライフサイクルを通じて当社が製品を管理し、部品のリユースや廃棄物の削減に取り組む。 	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール12	経済(4)①
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					<ul style="list-style-type: none"> 業務プロセスのなかで、再生機の使用など資源の循環につながる提案や商品開発を行う。 地方公共団体との協定締結の下で無料で給水できるウォータースタンドを各所に設置し、マイボトルの携帯を呼び掛ける。気候変動への緩和策として使い捨てプラスチックの削減を目的とする。 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール9	経済(4)①
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 (労働環境整備)					<ul style="list-style-type: none"> スーパーフレックス制度の拡充や、業務プロセスのなかの重労働の軽減や自転車の活用などを行い、多様な人材が活躍できる職場を実現する。特にメンタルヘルスチェックや社内通報制度の拡充により、従業員の健康維持に取り組む。 	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール8	社会(1)②
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ジェンダー平等)					<ul style="list-style-type: none"> スーパーフレックス制度の拡充や、業務プロセスのなかの重労働の軽減や自転車の活用などを行い、多様な人材が活躍できる職場を実現する。 	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール8	経済(1)②
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ハラスメント防止)				<ul style="list-style-type: none"> 取組における無報酬の家事労働への評価に基づき、これらを軽減する商品を開発・提供する。 スーパーフレックス制度の拡充や、業務プロセスのなかの重労働の軽減や自転車の活用などを行い、多様な人材が活躍できる職場を実現する。 	ゴール	指標	
				5.1、5.4	8.8		ゴール5	社会(4)③	
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)				<ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体との協定締結の下で無料で給水できるウォータースタンドを各所に設置し、水分補給によって非感染性疾患(心血管疾患、糖尿病、又は慢性的呼吸器疾患)による健康被害を予防する。 スーパーフレックス制度の拡充や、業務プロセスのなかの重労働の軽減や自転車の活用などを行い、多様な人材が活躍できる職場を実現する。特にメンタルヘルスチェックや社内通報制度の拡充により、従業員の健康維持に取り組む。 	ゴール	指標	
				3.4	8.8		ゴール3	社会(3)①	
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報への発信やインターンシップの受け入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					<ul style="list-style-type: none"> 業務を通じて高い付加価値を創出するよう常時プロセス改善を行う。これにより、多様な人材が活躍できる職場を実現する。 従業員、お客様、地方自治体・企業、教育機関、地域の皆様。未来の世代をステークホルダーとする。ステークホルダーとのパートナーシップを構築し、SDGs達成に貢献できるよう事業の改善・推進に尽力する。 	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール8	経済(4)①
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)					<ul style="list-style-type: none"> ガバナンスにおける公正さを確保し、汚職や贈賄などが生じない経営を実行する。 	ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	経済(2)①
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設け、CSV(※)などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					<ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体との協定締結の下で無料で給水できるウォータースタンドを各所に設置し、マイボトルの携帯を呼び掛ける。気候変動への緩和策として水分補給による熱中症の予防、緩和策として使い捨てプラスチックの削減を目的とする。 当社の持続可能性に関する情報については、毎年度ウォータースタンドレポートにおいて開示する。 	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール13	経済(4)①

※CSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)
企業が社会課題に取り組む、社会に対して価値を創造することでビジネス(経済的な価値)を創出すること。

SDGs達成に向けた宣言書

宣言日 令和3年9月27日

団体名 ウォータースタンド株式会社

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します

◆ SDGs達成に向けた取組方針等

SDGsは当社にとって未来の世代からの宿題です。「ごみを減らす」といった消費のプロセスの一部分を改善することではなく、事業を通じて「生産、運搬、消費、回収、リサイクル」というリニア型経済のプロセスを循環型経済プロセスへ転換して参りたいと考えています。このため、事業を通じ、使い捨てプラスチックの使用を抑制しより良い行動をとることへの呼びかけを広げることで、SDGsの達成に貢献して参ります。

◆ SDGs達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」		SDGs達成に向けた重点的な取組	指標(KPI) ・目標値 <small>※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。</small>		最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組 <small>※どちらか一方のみの記載で構いません。</small>
経済	○	・ウォータースタンド設置台数から使い捨てプラボトル削減本数・CO2排出抑制量を推計し開示しています。事業の持続的な成長が環境負荷軽減につながるSDGs経営を実践しています。	指標(KPI)	ウォータースタンド設置台数	指標
社会			目標値		経済(2)④
環境			2030年 (その他の場合) ()年	ウォータースタンド設置台数100万台	具体的な取組 環境(2)ウ
経済		・多様な働き方の推進と長時間労働抑制のため、全社員がスーパーフレックス制度を選択できるようにしています。 ・営業車両ではなく自転車を使用するエコサイクル手当を2020年2月に導入し、業務の全プロセスでSDGs達成に取り組むことで従業員の働き甲斐向上につなげています。	指標(KPI)	総合職における男女比率	指標
社会	○		目標値		社会(1)②
環境			2030年 (その他の場合) ()年	男性：女性の比率 =50%：50%	具体的な取組 社会(1)イ
経済		・2019年から地方自治体と使い捨てプラスチック削減に向けた連携協定を締結し、マイボトルに給水と呼び掛ける「ボトルフリープロジェクト」を推進。 ・環境目標を定め、ISO14001を取得。環境・社会データを盛り込んだウォータースタンドレポートを発行。	指標(KPI)	誰もが給水できるウォータースタンド(給水スタンド)設置台数	指標
社会			目標値		環境(2)①
環境	○		2030年 (その他の場合) ()年	2万台設置	具体的な取組 環境(2)ウ

記載について

- ・ 「SDGs達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- ・ 必ず全ての分野(経済・社会・環境)の達成を宣言してください。
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- ・ 指標(KPI)は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団 体 名 ウォータースタンド株式会社

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
2 【SDGsクラブプロジェクト】 北九州のまちを美しく！プロジェクト	2020年10月、北九州SDGsクラブの新プロジェクト「北九州のまちを美しく！」へ参加しました。黒崎商店街（カムズ名店街）の清掃活動へ参加し、清掃活動前後の水分補給として、弊社商品のウォータースタンドを提供し、水道水を原水とするウォータースタンドの浄水とマイボトルを活用することで、ペットボトル等のごみを削減しました。
16 ノーマイカー事業	今後、地球温暖化防止のため営業車両を自動車から自転車へ転換する当社の「エコサイクル制度」対象者を拡大するほか、交通機関の利用などを促進し北九州市のノーマイカーの取組を推進します。
19 道路サポーター制度	今後、地域に根差す北九州営業所として、道路の清掃や点検などのボランティア活動を実施します。実施にあたっては、コロナ感染症拡大状況を勘案した当社の実施基準に則し、安全安心に遂行致します。

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。